

委員長 それでは、よろしいですか。それでは、質疑が終わりましたので、採決に入りたいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

それでは採決に入ります。令和4年度松田町一般会計予算につきまして、賛成の方の挙手を求めます。

賛成多数で、令和4年度松田町一般会計予算につきましては可決すべきものと決定いたしました。

お諮りいたします。報告書の作成について、どのような形にしたらいでしょうか。御意見のある方はお願いします。

中野委員 例年にのっとり、委員長・副委員長であらかじめを作ってください、それを基にして付加するものは付加すると、そういった形でやってください。

井上委員 この場です、意見のある方は附帯項目を挙げて、この場です、挙げていただいて、それを附帯項目として、報告書に載せるかどうかを皆さんで議論をして、それからですね、報告書としてまとめていただきたいと思います。

委員長 それでは、6番から附帯項目を先に挙げていただくということで、皆様から附帯項目について…。

井上委員 それでいいかどうかを皆さんに。

(「それでいいです。」「お願いします。」「オーケーです。」の声あり)

委員長 それでは、附帯項目として挙げたいことを御意見として頂きたいと思います。

田代委員 この昨日の午後、そして本日の午後、やはり一番問題になったのは、消防の用地だと思います。それで、確かに私個人でも、先代が築いた松田にある消防、それに対して尽力をして用地を確保するのは理解できます。ただし、それだけの金額が、地図上では候補は上がっている。一切の根拠がなく、根拠かどうか分からないけれども、建物が5,000万、それと土地が1億5,000万、それが説明責任がね、やっぱりちょっとね、弱過ぎますよね。私は反対ではないんだけど、また今の消防、小田原消防からのうちが照会入れた回答に対しても、やはりある程度時間が限られているということであれば、段階を設けてね、私は執行するべきだと思う。

というのが、1つは財産の処分または買取の場合に、5,000平米という規定があるんですよ。そうすると、それは今回1,500平米だからする必要はない。議会承認はない。どこか何か分からない、予算だけは認めて走り出す。それはやはり議会としてのチェックがなかったことになってしまうということで、それで結論なんですけども、附帯項目には、やはりその調整結果がはっきりした段階で議会に報告していただいて進めていくということで、今ここでオーケーです。じゃあ、あとどこを買ってもいいですよじゃなくて、やはりお隣の大井町もあることだし、小田原もあることですから、やはり議会と町と、しっかりキャッチボールを進めていくためには、附帯項目としてそういった報告が終わって初めて執行すべき事業ではないかというのが私、1点目です。

次が2点目が、森林環境譲与税、または水源環境保全税か。これが県の水源環境税なんですけども、これを原資として、奥山のナラ枯れの対策事業、これを早急に、優先的に取り組んでいただきたいというのは入れていただきたいです。これね、大事な問題なので。すみませんが、一応私の要望ですから。何かありませんかと言われたから、私は発言してます。

それとあと、余分なのかもしれないけども、さっきの滞納者のこの補助金で、町単事業はロックを外していくと言うけれども、非常に難しい問題。この3点ぐらいはね、附帯項目で私はぜひ入れていただきたいと思います。以上です。

委員長　ほかにございますか。

中野委員　今の5番議員の。私は1番の、3つ言われましたけども、ナラ枯れもそうなんですけども、1番の消防の土地購入についての。私は私の附帯項目の文面というんですか。ちょっとこんなものでいいのかなということをお願いしてください。分署建替えの購入地の予定のめどが立った時点で議会に示されたいとか、こんなふうな形の文言でいいのかな。田代議員。そういった意味ですよ。（「そうです。」の声あり）ね。めどが立ったときで、こういったところを幾らぐらいで買いたいんですけど、皆さんどうですかと。こういった意味を附帯項目につけてくれということですよ。

田代委員　これは書く必要はないんですけども、積算根拠がはっきり何もしてないわ

けですよ。まだ机上で当たっただけ。

中野委員 どこだか分からないから。

田代委員 候補地が複数あると言われたでしょ。それで、じゃあ建物、物件補償。どこにそれがあるのよと。だから、説明責任がやっぱりされてないんで、その辺は全部あからさまに書かないで、オブラートに含んだ中でね、今の中野議員が言われたようなことで私はよろしいのかなと。もう一度ちょっと読んでください。

中野委員 分署建替えの購入地の予定のめどが立った時点で議会に示されたい。これにはもっとね、いろいろ文章をね、変えていただいていたいいんですが、委員長・副委員長がこれ目安に、また向こうでね、頭のいいところで考えていただければいいですよ。それと、私の附帯項目というのは、やはりこのことが一番ですから。

委員長 分署建替えのことと、それから…（「ナラ枯れ。」の声あり）そうですね、ナラ枯れの対策事業費を早急に対応してほしいということと、あと滞納者、先ほど滞納者に対して補助はしてないって、国からとか県からの別として、してないという御回答がありましたよね。それ…ごめんなさい。

田代委員 冒頭ね、昨日始まる時に町長が、滞納者に対しても門戸を開いていくよと言いつつ切ったんですよ。

委員長 言いつつ切りましたね。

田代委員 おむつのこの事業については、子供には罪がありません。町単事業に限っては、そういったことで滞納者への支出についてロックを外していくというのは、私はちょっとすごい興味があったからメモを書いたんですよ。それはちょっとね、私は議会として、「そうですか」と言うわけにはいかないと思うんですよ。ということで発言しました。たまたま、今のおむつの関係については、唐澤さんが質問したのに対して、チェックしたら滞納者はいないと。でも、もし出ってしまった場合に、支給するんですよ、町長のお話は。だから、そういうことであれば、滞納者に対する補助金、または交付金。これについては、支出については厳正に取り扱おうとかさ、何かそういう言葉やっぱり欲しいよね。はっきり、だって町長が言われたんですよ、冒頭。皆さん覚えてるでしょう。私はそれ容

認できないと。

平野委員 この件は、やはりちょっと、唐澤議員としてはどちらかというと子供には罪がないという立場で質問されたと思うんですが、私もどちらかというとそういう気持ちが強いです。これはやはりほかの議会なんかでもちょっとね、議論になったりしている議会あって、この場でみんなで結論を出すという感じではないのかなと思うので、もう少し議論を深める必要もあるかと思うので、ちょっと今回の附帯には。とりあえず今調査したところは、今はそういう例がないということなので、少し、それこそ議員間討議ですかね。何かそういうことで考えていくべきかなと思うんですが。ちょっと今回の附帯には。

田代委員 いいですか。町長がはっきり宣言されたでしょう。だから私は言うんですよ。そういうのも検討しているという含みがある発言じゃなかったと思う。もしあれだったら、一回、昨日の冒頭のあれを録音回してもらっていいですよ。

平野委員 覚えてる、覚えてる。私も覚えてますよ。

田代委員 はっきりトップが言ってるんです。

平野委員 そういうのは外すように見直したいというのは言っていましたね。

田代委員 だから、それは慎重に対応されたいと思います。

井上委員 今ですね、当初予算案で、それはですね、5番議員のその点は、2点ぐらいは運用なんですよ。それをね、ここで予算をですね、承認をするところと、それというのは別にしたほうがね。例えば次のね、一般質問の中でそれで執行の姿勢をね、町長に問うというふうな形で持って行って、ここはね、予算計上が幾らで、そういうおむつ代とか水道代を支援する、助成をするということに対してであって、その人がね、例えば納税者なのか、それとも滞納者なのかというのはね、別の話で、ここで載っけちゃ私は適当ではないというふうに考えるので。それをね、議会で皆さんの総意の中で決める、決めないじゃないでしょう。やっぱり予算の枠の部分の計上に対して適当なのかどうなのかということだと私は思いますので。

田代委員 ちょっと参考にさせていただいて、少し考えます。続けてください。

井上委員 ついででね。だからさっきのナラ枯れも、例えばそういうふうに、もうやる

んじゃないくて、今現在60万円の予算計上がありますよね。その執行については、そういった部分が拡大しないようにリードされたいとかね、ナラ枯れの被害が拡大しないように留意をする予算とされたいとか、そういうふうにされたらどうかというふうには思います。

田代委員 ナラ枯れの60万は全然別ものなんですよ。

井上委員 知ってますよ。

田代委員 私自身は、やっぱり危険性をずっとね、12月、3月、言った中で、住宅地の近くの、まるっきり別ものなんですよ。だから、そういうものじゃなくて、もっとでかく、松田の環境を守るためにやってくれと。そういう中の附帯項目なんです。だから、先ほどの滞納は少し分かりましたよ。これはやっぱり政策的な問題だから、文言は今の私の言葉がいいかどうか分からないけども、山奥で手がつけられない。でもみんなあまり知らない。こっちの人は。ちゃんとやってないから、ああいう形で有害獣が出てきてしまっている。やっぱり一番のものをそれはやらないと、少しでも早くやらないと、ほんとクマの犠牲者、出ますよ。本当に、笑ってるけどさ、俺自身おっかないもの。山入れない。それから行ってない、奥の山。本当に勇気いるんだよ。すぐそこの、あそこの中央農道の先に出てるんだよ。大沢でも出てるんだよ。本当に、今まで…じゃあ、お願いします。

中野委員 5番議員のおっしゃることは重々分かるんです。私もね、今日質問しようと思って、ちゃんと付箋を貼ってあるんです。ナラ枯れ対策に60万、ふざけるんじゃないねえよと。何の予算と。ただ、これはね、倒木となろうとしている、民家に直撃じゃ危険だからと。そうすると、でもね、ナラ枯れのあの大木を1本切れば、この、いらっしゃいますけど、1本、すぐ10万、20万ですよ。太い木だったら、御存じのとおり50万、60万、1本だけで終わりなんです。それで、田代議員がおっしゃるのは、ナラ枯れはそういったものじゃなくて、もっと根拠を絶たなきゃ駄目だよと。病虫害によってナラ枯れが引き起こされてるんです。それで、県が言うのは、黒岩知事が言うのは、ナラ枯れ対策をしっかりとやっていくというのはね、その病原菌自体を消毒等で、また枯れたやつはどんどん

ん伐採して焼却をするとかと、そういう対策なんですね。田代議員、まさにそれでしょう。（「そうです。」の声あり）私もそう思うんですよ。今ね、たしかに皆さん、ナラ枯れって何だろうと思うんですけど、ここの山だって、秋になってごらんささい。真っ赤っかですよ、ここ。真っ赤っかになってるのは、あれ、紅葉してるんじゃないんです。あれ、ナラ枯れなんですよ、みんな。全部。それが1本それを残しておく、マツクイムシと同じで、どんどんどんどんはびこっていくわけですね。だからね、私はね、ヤマビルと全く同じで、もうこれ手の施しようがないんじゃないかなと思います。思うけども、何か対策をしていかなければ、おっしゃるとおり、きれいな環境林なんて守れるわけがないんです。だから、そういう意味の環境保護のための何とかという文言で附帯項目を入れるなら、（「そういう意味です。」の声あり）そうでしょう。そういう文言を考えてください。

田代委員 要はね…（私語あり）言わせてくださいよ。要は私言いたいの、一般質問で12月にやって、皆さん聞いてたでしょう。そのときに町長も前向きにやっていくよと言われてたでしょう。それでこの対策事業は出たと思って、ああ、よかったな、60万しかないけど。調査かなと思ったの。そうしたら、民家の倒れかけてるのを。全然違ったんですよ。一般質問の政策で私はやったんですよ。それに対して、ちゃんとした答えが求められなかったから、だから今回、またここで具体的にやらせていただいたと。やっぱり一番の根本的なこれ政策、環境という面からすると、私は外してほしくない。以上です。

唐澤委員 だから予算に絡めての文言に変えてということですよ。

田代委員 あとは表現はちょっと変えていいよ。

井上委員 ただ、執行者側が計上してきた予算になればね、ないということでしょう。それを附帯項目の中で入れろよという話であれば、それは予算を追加して修正をしないとね、そのことが伝わらないんじゃないかなというふうに私は思うんですよ。そうしないとね、例えばね、じゃあ60万円についてはね、それをちょっと言い換えるのであればね、附帯項目の中でできますけども、全くゼロなのを、こういう事業をやれよという話というのは、附帯項目にちょっとなじまな

いんじゃないかなと私は考えます。

田代委員 私の意見は、今あるののそのナラ枯れ対策事業、その60万がその1なんですよ。その2としてね、こういうのを入れてくれと。剰余金の基金があるんだから、検討して、補正でも何でもそれ取り崩してもらって、至急調査。中のほうがどうなっているかって。担当課のほうでも、矢口係長が調査、そういったものやって、それから取り組んでいきたいと答えたわけでしょう。それには今言われたように何にもないのを復活じゃなくて、今ある60万、それはその1なんですよ。その2としてちゃんとしたものをもう1個入れてほしい。それを私補正対応で絶対お願いしたい。そういう一貫した考えの中で、今、附帯項目で発言してるんです。

委員長 それに対して御意見ありますか。

平野委員 私もナラ枯れはもう大分前から赤くなっているのをすごく気になって、ちょっと女性議員なんかでもね、勉強会をしたことがあるんですけども、とにかく本当に60万なんかじゃ収まらないのも私も分かりました。本当に山奥は入るだけで大変だし、それを切ったからっておさまるものじゃないと。虫を何とかしなきゃいけない。その虫も何かね、タイミングがあるそうなんですよね。何か繁殖しちゃう時期をうまく狙わなければ、何の効果もないというのもちょっと勉強したもので。その辺のところを考えると、やっぱり一刻も早くというのは私も気持ちとしてはすごくあります。先ほどやっぱり井上議員がおっしゃるように、それをどうやってこの予算の附帯に表現するのかという問題なんですよね。私も気持ちとしては載せてほしいなという気持ちはあるんですが、その辺のお知恵を本当に井上議員に頂けないかと思います。

これは多分、どこの地域でも、箱根なんかもね、少しずつ予算つくって、まず危ない倒木のところから切るということ、もう去年の秋ぐらいからやってるんですけど、多分この根本的にやっていこうというのを打ち出している自治体、まだないんじゃないかと思うんですよね。これは松田が先鞭つければ、ほかの広域にもぜひ、1か所でやったっておさまらないことだから、県下全体でやってほしいよという流れにもっていくきっかけにもなるかなと思うので。

中野委員　ではね、確かにもう60万ついてます。その使い道はもう限定されているわけですね。であるならばね、それ以外に自然環境を守るためにもということなのでね、私今ちょっと考えたのが、ナラ枯れ対策については、自然環境を守るためにも、根本となる原因についても検討されたいとか。そうすれば、今それは60万は60万でやってくださってもいいんですけど、そうなる根本となる原因についても検討をされたいと言え、それは附帯項目でいいんじゃないですか。新たなものをつくるということじゃないんだから。どうかね、栄ちゃん。

井上委員　別に構わない、それならそれで構わないです。

中野委員　そんなふうな文言で。いや、栄ちゃん、駄目なら、いいだよ。首かしげてるんだったら、違うよとか何とか言ってくれな。

井上委員　その辺はね、先ほど言ったように、附帯項目なので、皆さんの意見の中で載せる載せないというのは最終的にね、決をとって決めていただきたいと思いますが、予算にないものを…予算にあるものについてね、例えばこれの執行についてはこういうふうにしてほしいということならば理解できますが、予算にないものを載つけてほしいというのは、ちょっと予算の議決に対する附帯項目としては、私は適当ではないと。であれば、とりあえずは60万というのが元があるのであればね、それを拡張をした言い方にしてね、それはそれでさわるなという話もありますけれどもね、もしどうしてもそれをやるのであれば、あれだし、また実際そういうふうにな、本当にその事業費が足りないよと。執行者側は何をやってるんだよということであればね、100万とか200万を追加でね、予算を修正すべきだと私は思います。

田代委員　私はそれでいいと思うんですよ。今ある60万にプラス調査をして、入り口をつける。そういうあれで、今ある現計予算に対してその言葉を加える。そういう書き方でぜひお願いしたい。それが次につながっていくと思います。以上です。

委員長　それでは、ほかに附帯項目として挙げたいものはございませんか。

それでは今、田代委員から出たナラ枯れに対しての附帯項目に載せるという、掲載するということは、賛成の方。今、挙手をとってくださいと御要望があっ

たので。全体でその消防用地とナラ枯れ、2点になりましたけれども、これでもよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

では、暫時休憩いたします。

寺嶋委員 委員長、時間延長諮ってくださいよ。

委員長 終了するまでということで、5時ちょっと過ぎちゃうので、延長してもよろしいでしょうか。

(「はい」の声多数)

お願いいたします。 (16時55分)

委員長 それでは、休憩を解いて再開いたします。 (17時16分)

それでは、皆様のお手元にお配りした報告書案を読み上げて、委員の皆様の御意見をお伺いしたいと思います。御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。それでは、事務局長、朗読してください。

議会事務局長 案、令和4年3月9日、松田町議会議長 飯田一殿。一般会計予算審査特別委員会委員長 南雲まさ子。

一般会計予算審査特別委員会報告書。本委員会は、3月8日、9日に委員11名全員出席のもとに、役場4階大会議室において委員会を開催し、令和4年第1回議会定例会において付託された議案第13号令和4年度松田町一般会計予算について慎重に審査しましたので、次のとおり報告します。

記。1、審査の結果。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款ごとに審査しました。

昨年度と比較し、松田小学校校舎建設が完了したため大幅な減額となっており、公債費比率は健全な範囲内で推移している。ウクライナの情勢により今後の見通しは不透明であるが、ポスト・ウィズコロナを見据えながら持続可能なチルドレンファーストを中心とした予算編成となっている。

なお、予算執行に当たっては次の事項について申入れをします。

(1) 松田分署建替え用地購入に当たっては、候補地が選定され次第、速やかに議会に報告を行い、段階的な執行をされたい。

(2) 水源環境保全税及び森林環境譲与税の利用に当たっては、有害獣等の増加により奥山のナラ枯れが加速するため、その対策として優先的な利用をされたい。

以上です。

委員長 以上のおおりにですが、委員の皆様のお意見を伺います。

大館委員 申入れ事項の2番、有害獣が増加によりじゃない。ナラ枯れの原因は全然関係ありません。これじゃ笑われます。原因は、有害獣が増えたからナラ枯れになったわけではありません。

委員長 すみません。じゃあ…。

平野委員 ここだけ取っちゃえば。

議長 これだけカットすればいいんだよ。

中野委員 奥山のナラ枯れ。それでいいじゃん。

委員長 ほかに。

内田委員 (1)のね、これ、松田分署しか書いてないんだけど、何の分署というか。だから小田原消防松田分署とか、書いたほうがいいんじゃないかと思います。

委員長 これ、小田原消防で間違いないですか。

井上委員 違うよ。足柄消防松田分署だよ。

内田委員 足柄消防。正式名。

井上委員 さっきのあれを見て。

内田委員 あ、足柄消防だ。足柄消防。

井上委員 さっきのこの資料6で、足柄消防署松田分署。だから、書かなくていいんじゃないの。

平野委員 そうだね。広域消防の消防と間違えてるのね。

井上委員 いや、そうじゃなくて。建替えのものとつは足柄消防なんです。

平野委員 ああ、そうか、そうか。じゃあ、足柄消防署松田分署。それとも足柄消防松

田分署。

内 田 委 員 今の名称は何だっけ、この。足柄消防松田分署なんだよな。

平 野 委 員 消防だね。「署」は要らないんだね。

井 上 委 員 建物は。

内 田 委 員 建物がね。

委 員 長 じゃあ足柄消防松田分署に直すということですね、はい。

平 野 委 員 真ん中の「昨年度と比較し」のところの中の、一応健全な範囲で推移しているとした後に、次の行に「今後の見通しは不透明であるが」というふうになっちゃっているんで、何か矛盾してしまうので、今後の見通しは不透明な要素はあるがとかにしないと、おかしいかなと。

委 員 長 そうですね、はい。要素であるというとは何か…。

平 野 委 員 要素はあるが。

委 員 長 「要素は」だね、そうですね。

ほかにございますか。

田 代 委 員 すみません、ちょっと2番の言葉をちょっと私なりにちょっと素案として出させていただきますので、皆さんちょっと上書きでちょっと訂正を記載してもらいたいと思います。私の私案、読み上げます。

2段目の「奥山」、ここから始めます。奥山のナラ枯れが加速しているため、新たなナラ枯れ対策事業として、それで一番上に戻ります。そこまでもう一度読みます。奥山のナラ枯れが加速しているため、新たなナラ枯れ対策事業として、水源環境保全税及び森林環境譲与税を財源に対応されたい。

もう一度読みます。通しで読みます。奥山のナラ枯れが加速しているため、新たなナラ枯れ対策事業として、水源環境保全税及び森林環境譲与税を財源に対応されたい。

これが井上さんが言ったような、今あるものにもこれを加えてやってくださいよという意味に変えたつもりです。それで意味が通じなかつたら、また少し言葉を皆さんにアドバイスいただきたいんですけど。我々が審議するのは、現在計上された予算に対しての附帯項目だということを念頭に置いて、こういう直

し方をすると通用するのかなと思って今申し上げましたけど、いかがでしょうか。

委員長 今、5番が言われた…（私語あり）もう一回読みます。奥山のナラ枯れが加速しているため、新たなナラ枯れ対策事業に水源環境保全税及び森林環境譲与税を財源に対応されたい。このような文面でよろしいでしょうか。

田代委員 そうです、そういう意味です。

委員長 よろしいですか、これで。あとはございますか。

大館委員 本文のほうで、「昨年」のちょっと3行目下、ポスト・ウィズコロナを見据えながら、持続可能なチルドレンファーストを中心とした予算編成って、ちょっと理解に苦しんだ。

平野委員 これは、向こうの言ってる言葉をそのまま入れたという感じ。所信表明とかに何か入っていた。

委員長 そうですね、所信表明というか、違うほうですね。

大館委員 予算全体がこれだと…。

田代委員 チルドレンファーストは予算少ないものな。これ、取っちゃっていいだよ。持続可能な予算編成となっているでいいじゃないか。

委員長 そうですね。

田代委員 そのほうがすっきりしてくるよ。

大館委員 抜いたほうがいいよな。

平野委員 ああ、分かった。

田代委員 「チルドレンファーストを中心とした」まで取っちゃうだよ。

平野委員 3ページにあったね。書いてある、書いてある。でも、まあ…。

委員長 じゃあ「持続可能な予算編成となっている」に変更させていただきます。よろしいですか、それで。あとございますか。

議長 そうしたらさ、その前の「ポスト・ウィズコロナ」を見据えながらじゃなくて、ウィズコロナを見据えた持続可能など、こうきたほうがよくない。

委員長 そうですね、はい。「見据えた持続可能な」に、そのほうが。

田代委員 「見据えた」、はい。

委員長 あとはございますか。

平野委員 ごめんなさい。さっきの（２）番、もう一回読み返していただけますか。

委員長 はい。奥山のナラ枯れが加速しているため、新たなナラ枯れ対策事業に水源環境保全税及び森林環境譲与税を財源に…。

平野委員 「に」が続いちゃったんだね。やっぱり田代さんが最初言った、事業としてのほうがいいんじゃない。

委員長 事業として財源に対応されたい。

平野委員 「ナラ枯れ」をもう一回繰り返しているけど、対策事業だけじゃ伝わらないかな。

田代委員 まあ、どっちでもいいけどな。

内田委員 なくても分かるな、意味は。

平野委員 奥山のナラ枯れが加速しているため、新たな対策事業としてで。そこでもう一回「ナラ枯れ」使っていたけど。

大舘委員 ちょっといいですか。奥山だけじゃありません。すぐ近所のナラ枯れもしてますから、奥山は特定する必要はない。

田代委員 だけど、それは前に出てるやつなんですよ。それはもう計上されているんですよ、60万。それ以外に、もう少し拡充して、これをやってくれという意味だから。

大舘委員 我々は分かるけど、これを読む人が理解できるか。奥山だけじゃない。町民全体に対して分かるように表現しなきゃいけないんじゃない。我々は予算審査をしてるから分かるけど。

平野委員 山全体とかじゃ駄目。

中野委員 それは、表現は。

平野委員 どんどん広がっちゃう。

田代委員 その後どうしても入れるんだったら、「新た」の前だよ。市街地のナラ枯れ対策に加え、新たにとかさ。もしどうしても入れるんだったらね。

大舘委員 入れないと分からないよ。奥山だけ枯れているんじゃないぞと言われちゃうよ。

平野委員 本当だね。

大館委員 現実にすぐそこも枯れてるんだから。

田代委員 奥山のナラ枯れが加速しているため…。

平野委員 広報に載せるときに、そうだね。

田代委員 住宅地での対策に加え、新たな…ここでもう一回ナラ枯れ入れていいだな、そうすると。新たなナラ枯れ事業として水源環境保全税ペケペケになるのかな。

平野委員 分かりやすくするには、今回は道沿い、人家そばのナラ枯れ対策予算が計上されているがと、先に言っちゃうと分かりやすいかも。

田代委員 そうだな、そんなあれでいいよ。

委員長 じゃあ、何、どうします。今の、入れますか。

井上委員 これはだって最初のは、別に関係ないでしょ。もう予算計上を認めたわけでしょう。60万の部分は。

田代委員 それは認めてるからな。

平野委員 そこはね。

田代委員 ということで、大館先生、どうでしょうか。省いても…。

中野委員 いいって、な。これでいいよ。これで。

大館委員 皆さんがいいなら、いいですよ。

中野委員 いい。直す必要なし。

委員長 じゃあそのように取り計らってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

じゃあ、「案」を消す…(私語あり) そうですね、ごめんなさい。それでは、
暫時休憩いたしまして…。(私語あり)

じゃあ、時間も押してますので…。

議会事務局長 すみません、1点だけいいですか。「足柄消防」を入れますか、入れませんか。それだけちょっと。

中野委員 入れるんでしょう、それは。

大館委員 正式に調べたほうがいいよ。

井上委員 町民が見たときにわけが分からなくなっちゃうよ。今、小田原消防が使って

いる建物だから。

大 舘 委 員 担当課にそのの。

平 野 委 員 そうだね、担当課にどういうふうに…。

大 舘 委 員 きちっと、どういう名称なのか、聞いたほうがいいよ。

平 野 委 員 表記が正式なのかを。

井 上 委 員 正式な表記は足柄消防署松田分署。

平 野 委 員 「署」が入るんだ。

井 上 委 員 だけど、それを例えば議会だよりに載付けてね、町民の人が何よという話になっちゃうから、このままでいいんじゃないですかと。

田 代 委 員 ただ「消防」という言葉が入ってないでしょう。

平 野 委 員 そうだね。

田 代 委 員 だから「消防」という言葉を入れないと、逆に分からないんじゃないか。

内 田 委 員 警察かもしれない。

田 代 委 員 だから、もし「足柄」というのが面倒だったら、消防松田分署。略して。

内 田 委 員 消防署でもいい。消防署松田分署でも。「署」が続いちゃうけど。

田 代 委 員 「消防」という言葉はどこかに入れなきゃ駄目だよ。分からないよ。

中 野 委 員 いいよ、だから「消防松田分署」でいいよ。それで分かるよ、すっきりして
いて。

委 員 長 じゃあ、そのように。

じゃあ、以上、この報告書を10日の本会議で報告させていただきます。本日は長時間にわたり御審査いただき、ありがとうございました。これをもちまして予算審査特別委員会を閉会とさせていただきます。 (17時30分)

この議事録は事務局が作成したものであるが、その正確なることを証するために署名いたします。

令和 4年 6月 2日

一般会計予算審査
特別委員会委員長 南雲 まさ子